

開催日：令和 3 年 6 月 10 日

会議名：令和 3 年第 3 回定例会（第 1 日 6 月 10 日）

○西本ちかこ いばらき未来の会の西本睦子です。本会議で初めて質問させていただきますので、皆さんと重なる質問もございますが、何とぞご容赦いただきたく、よろしく願いいたします。

このたびのワクチン接種予約について、お聞きします。

65歳以上の高齢者の方への集団接種の予約が5月6日から始まり、大変混乱をしました。ワクチン接種の市民の方への周知の仕方と内容について、7万人の高齢者の方に接種券を送付した経緯を含め、これまでを時系列でご説明をお願いいたします。

○中村健康医療部長 これまでの経緯と市民の皆様への周知ということでございます。

広報4月号におきまして、65歳以上の接種券を4月上旬に発送する旨を掲載、4月5日に接種券7万991通を発送しております。

4月13日に集団接種の予約を5月上旬から開始する旨、接種を希望する人にはワクチンが供給される旨を掲載いたしました「茨木市からのお知らせ（新型コロナワクチンの接種について）」を作成いたしまして、各自治会への回覧を行っております。

広報5月号では、5月、6月に実施する集団接種の予約方法等や会場、日程等のスケジュールなどの情報を掲載いたしております。

4月30日から5月5日の間ですが、広報車で集団接種の予約が5月6日から開始される旨のアナウンスを行っております。5月10日から、広報車、ごみ収集車、消防車などで窓口予約中止のアナウンスを実施いたしております。

また、市ホームページやSNSで予約日ごとに予約枠が定員に達した旨を周知いたしております。

広報6月号におきましては、集団接種の予約方法変更の周知等の掲載を行っております。

6月1日から5日にかけては、全世帯に対しまして、「新型コロナワクチン接種に関するお知らせ」の発送を行ったところであり、かかりつけ医での個別接種の開始や集団接種の予約方法の変更等の情報を掲載いたしております。

○西本ちかこ ありがとうございます。

今回、私を感じましたのは、市民の皆さんが1度目の集団接種の予約に申し込めなかったことに対して、多くの不安を感じ、今回申し込めなかったら今後どうすればいいのとのお問合せをたくさん受けました。集団接種が今後も続くこと、市内医療機関での個別接種が6月には始まるとの周知が分かりやすくされていなかったこと、お問

合せ電話がつながらなかったことが今回の混乱につながった大きな要因の一つではないかと私は感じています。

4月に約7万人の高齢者全員に郵送された接種券には、接種券の有効期限について、「いつ事業が終了するか未定」とのみ書かれていました。5月広報には、集団接種会場の予約案内ページが何ページにも続きますが、今後、集団接種が続いていくことについては書かれていませんでした。裏表紙に小さく、市内の医療機関での接種に向けて調整中である旨、「今後接種できる医療機関は、広報いばらきや市ホームページ等に随時記載するほか、市コールセンターでお答えします」と書かれていました。今後、集団接種が続くことは書かれていませんでした。

例えば、5月広報の最初のページに、今回の集団接種の予約は、7万人中6,500人分ですが、集団接種よりも個別接種が全体の多くの割合を予定していることや、集団接種は来月も続き、今後、各医療機関での個別接種も始まるので、ご安心くださいとの記載があれば、市民の皆さんの不安も少なかったのではないのでしょうか、ご答弁お願いいたします。

○中村健康医療部長 市民への広報等での周知ということですが、5月号におきます広報では、5月、6月実施の集団接種に特化した記事となり、接種体制の全体像や今後のスケジュールがお示しできていなかったことにつきましては、市民の皆様に対して説明がやや不足していたという認識を持っております。

今後、ワクチン接種に関する情報等につきましては、丁寧な形で伝えていかなければならないということを再認識しているところでございます。

○西本ちかこ ご答弁いただき、ありがとうございます。

今回の件で、何が不安かといえば、待つことよりも、先の情報が分からないことだと思いました。国の指示に沿って進められたこととはいえ、やはり市独自で、たとえば接種券の発送を遅らせてでも、ワクチン集団接種が始まる前の4月24日、南体育館で行われたシミュレーションの際に、私たちの質問も受け付けていただけたように、今回についても、内容について、もう少し検討していただく時間が必要だったのではないかと思います。

続きまして、コールセンターについて、お聞きします。

他市でも電話回線がつながらない状況が続いていました。なかなか満足いく回線数は難しいと思いますが、お問合せの電話と予約の電話が重なりますので、今後は、予約券が到着してからの予約について、できるだけ混乱がないよう、望みます。コールセンターの体制について、お聞かせください。

○中村健康医療部長 コールセンターの体制につきましては、6月末までは60回線

を予定しております。それ以降の回線数につきましては、今後の施策の展開や混み具合の予想などを勘案いたしまして、慎重に対応してまいりたいと考えております。

○西本ちかこ ありがとうございます。

他市にはないお問合せ窓口を設置されたことはよいことだったと思います。窓口予約の対象者は、電話やインターネットで予約をできない方と広報に記載されていたけれども、実際、対象者はどのようにお考えでしたでしょうか。

また、混乱を受けて、窓口予約を中止された際のお知らせの周知の仕方について、教えてください。

○中村健康医療部長 窓口予約中止に伴う市民の皆様への周知でございます。

窓口予約の対象者といたしましては、コールセンターやインターネットが使用できない方などを対象として当初想定しておりました。

市民の皆様への周知につきましては、それを決定後ですが、広報車、ごみ収集車、消防車等でのアナウンス、また自治会への中止に関する案内を配布、また、ホームページやSNSで周知もいたしましたし、広報6月号への掲載、それと、全世帯へのお知らせの発送、以上のようなことを行っております。

○西本ちかこ ありがとうございます。

6月から、全世帯に対して新しいお知らせを発送いただきましたけれども、窓口予約がなくなってすぐには、私のほうにも電話が繋がらなくて、これからどうなるのかというお問合せをたくさんお電話いただきました。とにかく私はお知らせせねばと思い、市のホームページや担当者からお聞きしたことを参考に、今後、集団接種が続くこと、個別接種が集団接種より多くの割合を予定していること、各医療機関での個別接種は調整中ですが、必ず始まってまいりますなどの案内を自分でプリントし、近隣へお配りいたしました。たくさんの方から、よく分かりました、それなら安心できたというお声もいただきました。同時に、市全体でこういった案内を配布すべきではないかというご意見もいただきました。

窓口予約の中止については、新聞など、報道もあり、知られていましたけれども、今後どうなるか、予約が取れないのではないかと、やはり電話が繋がらない中で不安を持たれている方は多くいらっしゃいました。広報車で窓口予約を中止しましたと流すことやホームページからの情報発信はもちろん必要ですけれども、今後、希望する方全員のワクチンの接種が続いていくことを知らない方がたくさんいらっしゃるのだと実感いたしました。次の広報を待つまでに、せめて白黒印刷でも簡易なものでも構いませんので、全戸配布などを行っていただくなど、開示できる情報についてのタイムリーな発信と、さらなる周知の仕方にも工夫を凝らしていただき、今後に生か

していただきたいと思います。

続きまして、65歳以上の方の7万人のうち、何割の方が接種を希望すると見込まれていますか。

また、広報別冊には、1回目の接種時期の目安が7月末と書かれています。個別接種、集団接種は、1週間で何人のキャパを想定しておられますか。

また、週に何回接種される予定かは医院によって違うとは思いますが、先日、個別接種を受けられた方から、その医院では1日に12人接種されているとお聞きしました。7月末に1回目の接種を終了する目安ということですが、今後のスケジュール感を教えてください、お願いします。

○中村健康医療部長 接種見込みとそのスケジュールということでございますが、実施計画策定時には、対象者の6割というふうに見込んでおります。7月末までに、集団接種では約1万人、個別接種では約2万9,700人をそれぞれ見込んでいるところです。

大枠で申し上げますと、集団接種では、接種実績から算出いたしますと、週当たり平均で約1,210人の接種が行われています。個別医療機関接種では、ワクチンオーダーの実績平均から約5,000人を見込んでいるため、65歳以上の接種希望者の全員が少なくとも7月末までには1回接種できるというふうなスケジュールを考えているところでございます。

○西本ちかこ ありがとうございます。

7万人の方のうち6割の方が接種を見込まれるということですが、私の周りでは、大変多くの方が希望されていると感じています。さらに予想以上の希望者数に膨らんだ場合も対応可能なのでしょうか。

また、今後のワクチン供給予定について、ファイザー社を希望される方が多くいらっしゃるようになってきています。65歳以上の希望される方全員が茨木市の集団接種、個別接種とも、ファイザー社製のワクチンを接種できるのでしょうか、教えてください。

○中村健康医療部長 想定を超える接種希望があった場合ということでございますが、想定以上の接種を希望される方が出てくるようになることも考えられますので、今後、その辺を慎重に見込みを立てまして、実施計画の見直しの中で検討してまいりたいというふう考えております。

また、使用するワクチンにつきましては、大規模接種会場や職域接種を行う場合を除きまして、少なくとも市町村で実施する部分につきましては、ファイザー社製を使用するというふうになっております。

○西本ちかこ 分かりました。

続きまして、キャンセルは出ていますでしょうか。その場合、どのような対応をされていますか。

また、大阪府の大規模接種会場へ接種に行かれた方が重複接種をしないよう、把握はされていますでしょうか、教えてください。

○中村健康医療部長 キャンセルの関係でございます。

当日にキャンセルを申し出られる方ということは今のところ、ほとんど出ておりません。仮にキャンセルが出た場合は、従事する医療従事者などへの接種を行っているところでございます。ワクチンロス対策としてルールを決めまして、今後も運用をしていきたいというふうに考えているところでございます。

また、大規模接種会場における接種者につきましては、VRS、これは政府が提供しておりますワクチン接種記録システムでございますけれども、これでの実績報告がなされている場合でありましたら、予約の重複とならないよう、予約券の発送対象から除外するような措置を講じております。

○西本ちかこ ご答弁ありがとうございます。

ワクチン接種は今、緊急事態宣言の中で市民の方、とりわけ高齢者の方にとっては一番の心配事かもしれません。連日のマスコミの報道を見て、ワクチン接種が終わっていないことを不安に感じている方も多くいらっしゃいます。

日本の新型コロナウイルスのワクチン接種は国際的に見ても遅れています。世界196か国中129位、先進国の集まりである経済協力開発機構加盟37か国の中では最下位ということですので、決して茨木市だけの問題ではありません。

そして、行政にとっては、国のワクチン供給量と医療機関との調整など、初めての中で本当に大変だったことと思います。ですけれども、ワクチン接種はまだ終わっていません。そして、また新たな感染症が襲ってくるかもしれない大変な緊張感の中とは思いますが、今後は、より分かりやすく情報をご提供いただき、安全に、望む方全員のワクチン接種を終えることができるよう、よろしく願いいたします。

最後に、スピード感を持って終わっていただくようにと、せかしてはいたしますけれども、医療従事者の方におきましては、大変なご負担をおかけしていることと思いますので、できるだけのご配慮をお願いしたいと思っております。

以上で私の質問を終わらせていただきます。